

やる気いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい

かがやく山内西の子

山内西小 HP:<http://cms.saga-ed.jp/hp/yamauchinishi-e/>

武雄市立山内西小学校
学校だより 6号
令和8年6月18日発行
文責：校長 松尾 寛

学PTA主催 親子情報モラル教室への参加、ありがとうございました！

一週間前のふれあい道徳の参観、並びにPTA主催の親子情報モラル教室への参加を頂き、誠にありがとうございました。講師の陣内 誠さんが言われていたように、保護者の皆様のお子さんの教育に対する関心の高さを改めて感じました。また、司会進行をはじめ、開閉会のあいさつ、講師へのお礼や湯茶のお世話など、企画、準備、運営に取り組んで頂いた、常任委員の皆様、誠にありがとうございました。



PTA 常任委員さんの見事な進行で、前半は陣内さんの講話、事前アンケートの説明、コメントがありました。

翌朝、登校する子ども達に、えがおのあいさつとともに感想を聞きました。子ども達からは、「山内は安全と思っていたけど、SNSの使い方によっては危険だということが分かりました。」「インターネットやゲームは、時間を決めてしないといけないと思いました。」「SNSは、特に犯罪につながるので気を付けようと思いました。」「時間やルールを決めて守ることが大切だと知りました。」等々、子ども達の記憶に残りました。

講師のITサポートさかの理事長である、陣内 誠さんが話されていたように、

- ①携帯電話やゲーム機をもたせるのは保護者の皆さんの判断によるもので、一度、持たせたら、その後も子どもの使用方法を確認する必要がある。
- ②SNS等の第三者とのやり取りが可能な機器は、犯罪、課金など色々な危険性があることを、保護者も子どもも理解し、対策を行う必要がある。
- ③我が子を守るのは、保護者の責任であり、そのためのツールは色々あり、活用することが大切であり、我が子がどのような使用方法をしているかを見ることが重要である。子どもは、親に見せられないような使用方法をしてはいけない。
- ④ルールを親子で考えてつくることが大切である。一方的につくったものは長続きしない。我が子の状況を見ながら、変えていく必要がある。
- ⑤子ども達は、ルールを守ることによって自分が守られていることを知る必要がある。SNS上の犯罪から自分を守るには、危険を感じたらやめるという判断力と、困ったときには大人に相談することが必要である。

以上のことを、親子で作ったルールをもとに、SNSとの賢い付き合い方を考えていきましょう。山内西っ子のえがおが増えるように我々、大人が子どもを守りましょう。



後半は、吉田教務主任による、「わが家のSNSと上手な付き合い方のルールづくり」を全員で行いました。

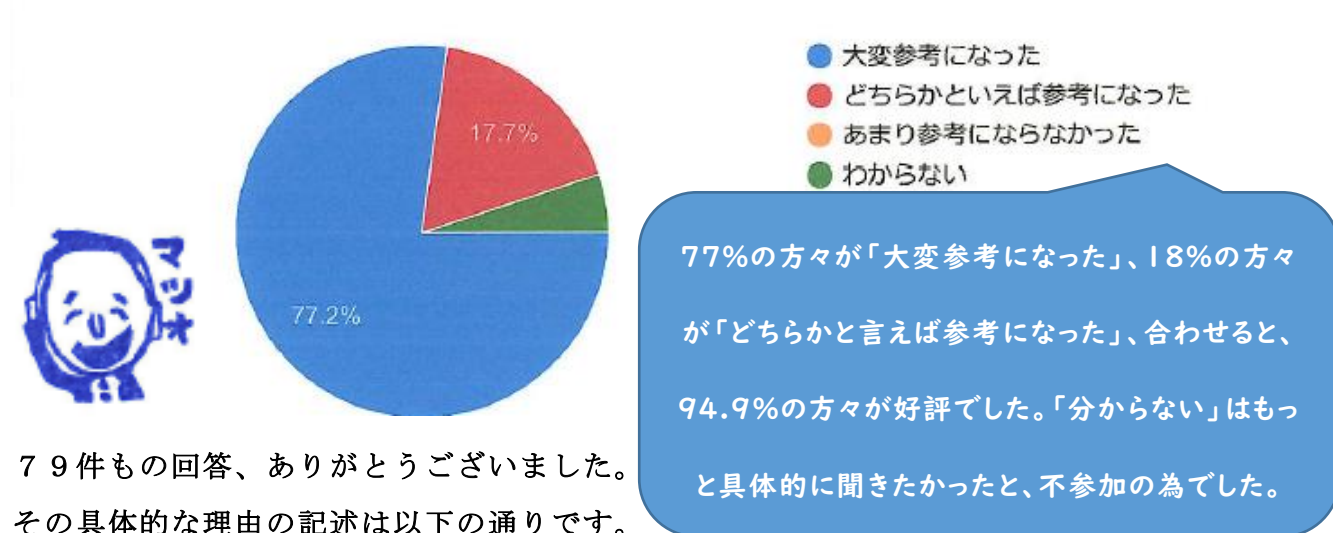
PTA 主催 親子情報モラル教室を振り返って！

今回のPTA主催 親子情報モラル教室への保護者の皆様の多くのご参加に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。終わりかけに、事後アンケートの送信ができておらず申し訳ありませんでした。その後、多くの貴重な回答をいただきました。重ねてお礼を申し上げます。その集計結果は以下になりましたのでお知らせします。

本日の「親子情報モラル教室」はいかがでしたか？

 グラフをコピー

79 件の回答



79 件もの回答、ありがとうございました。

その具体的な理由の記述は以下の通りです。

- ・ ネットトラブルは、心のどこかで「田舎は関係ない、都会のこと」と考えていた節があって、そうではないことがよく分かった。改めて、子どもとゲームのルールを話し合っきっかけになっ。とても分かりやすく、参加して良かったです。
- ・ 子どもにも分かりやすく話されていたので、理解しやすく良かったです。話を聞きながら、「それってなあに？」と子どもから聞かれて、説明する機会ができて良かった。
- ・ SNSトラブルで、男児も被害に遭っているということが親子ともに衝撃でした。子どもも熱心に聴けていました。知識がないことで、性被害や闇バイトなどのトラブルに巻き込まれてしまうリスクがあると分かった。他人事ではないと危機感をもった。小学生の時からSNSの怖さを知ることができ、家庭でのルールも見直す時間ができて良かったと思います。YouTube への見方がぐっと変わりました。子どもから時間やこの部類は見ていいかと聞いてくるようになりました。実際にあったネットトラブルの話の時、子どもが真剣に話を聞いて、いろいろ考えたりしていたので良かった。親子で適切な使用時間やトラブル事例を聞くことで、今後の具体的な声かけの参考になった。トラブルになって事例を聞いて、子ども達がやってはダメなことだと認識できた。基本的にYouTube しか使わせないので、家ではSNSの取り決めは考えていませんでしたが、自分に聞けて良かったし、同じ内容を子どもと共有できて良かったです。ありがとうございました。SNSがそんなに子どもの意欲に影響があるとは思ってなく参考になった。
- ・ 親子で一緒に話を聞くという形式が良かった。ゲーム機やスマホはあくまでも親が管理する物という内容が確かだと思いました。時間の管理がとても大事だとわかった。親の責任が増した。どういった対応が良いのかが分からなかったから、実際に聞けて良かった。親がしっかり管理しなくちゃいけないと思った。専門家から子どもに直接、話してもらうことで、子ども達も真剣に考える時間になったと思います。SNSトラブルの事例を親子一緒に聞いて、家庭のルールを考えられて良かったです。親子で向き合う時間になって良かったです。親子でルールを見直す良い機会だった。
- ・ 講師の方のお話、様々な事例も聞けたところはもちろんですが、他の家庭のルールも聞けて参考になりました。

- ・ちょっと駆け足過ぎて、何となくわかったな…というイメージ。座った場所が子どもの名簿の番号順に並んでいたのので後ろ過ぎて、画面の資料が全く見えなかった。特に、目新しい内容はなかったが、重要性を再認識できた。
- ・仕事にて不参加のため、妻から内容を聞きました。子ども達には、良い勉強になったと思います。子どもも本当に危ないのだなあと感じていたようで、それが良かったです。
- ・子どもといい話ができて良かった。子どもときちんと話すきっかけになって、ゲーム時間を見直せました。昨日、さっそく守っていたので良かった。

今後、このような情報モラル教室や講習会で、どのような内容の話を聞きたいですか。

- ・今後増えるであろうネット犯罪と、その対処について。年齢ごとのトラブルの事例や、その対処について。他人に自分の画像を送ってしまった時の対処法。トラブル、親としての対処法、子どもへの関わり方。ネットトラブルやネットいじめの対処法。ゲーム、SNSでトラブルにならないために気を付けること、万が一、トラブルに巻き込まれた時の対応。
- ・中高生のトラブルの事例。中高生で増えるトラブル時の対応。裏アカによるいじめ等。小中高生で友達とのネットトラブルの対応
- ・山内西小で実際に起きた、トラブルがあれば。開示による生の声。学校で話があるとは思いますが、ネットいじめについて親子で聞いてみたい。
- ・デジタル機器が及ぼす身体への影響、特に視力について。
- ・どうすれば、安全性が高まるか、具体的な方法。親ができるフィルタリングの設定方法。SNSトラブルの事例や対策、予防。子ども同士でのLINEの使い方。
- ・少しでもおかしいと思ったら、親にすぐ相談ということを強めに説明してほしい。
- ・設定したルールを破ったり嫌がったりした場合の対処法。低学年はまだいいが、高学年になると守れなくなるため。ルールを守らせてはいますが、なかなかすぐ止めなくて困っています。どうしたら、止めてくれるかを知りたい。

SNS との上手な付き合い方に関する「わが家のルール(決まり事)」を紹介！

今回の親子情報モラル教室にて、最後にそれぞれのご家庭に応じたルールづくりを行いました。親子で話し合っただけで決めた大切なルールです。これから役立てていきましょう。それぞれの家庭でのルールの一部です。親子で決めたわが家のルールを大切にしましょう。

- ・ゲームや携帯電話の使用時間や使用場所を決めました。平日2時間、休日3時間など。
- ・寝室には持ち込まない。使用時間を決めました。平日は9時まで、休日は3時間まで。
- ・夜の終了時間を守ること、課金はしないことにしました。ゲームやテレビは21時まで、1日2時間までにしました。スマホを触る時は、大人の許可を得てから触ることにしました。
- ・iPad 使用時間は平日1時間、休日2時間にし、アプリのインストールはママに聞きます。
- ・前からあったルールだが守れない時もあったので、改めて準備片付け、宿題をする事やってからゲームをすることを兄妹三人と親の共通認識にしました。



・宿題を終わらせてから、ゲームをしたりYouTubeを視たりします。ご飯、お風呂と言われたら、しっかり切り替えます。

・週末だけ使用します。使用する時は、休憩をはさみながらします。

・ゲーム、YouTube の1日の利用時間を曜日ごとに設定します。

・家族間で決めたゲーム時間を守らなかったら、一ヶ月間、ゲームを取り上げます。

・使用時間を決めます。やるべきことを終わらせてからにします。守れなかったら、翌日1日、ネット利用を行いません。

・午後8時以降はしません。友だちと一緒にゲームイベントに参加したい場合は、家の手伝いをします。約束を守れなかった場合は、翌日のゲームの使用を禁止します。

・まだスマホを持っていないので、大人のスマホを勝手に触りません。また、テレビのYouTube等の動画鑑賞は、1日に一時間程度とします。

・スマホ、ゲームは1日に一時間までとします。リビング以外では使いません。

・9時までにやめます。宿題などの自分がすべきことが全て終わってから使います。守れなかった場合は、2日間使用禁止にします。

・宿題が終わってからゲームやYouTubeをします。暗い部屋ではしません。困った時は、親に相談します。守れなかった場合は、1日使用禁止にします。

・ゲームは、宿題と明日の準備が終わってからします。遅くても午後10時までには終わります。知らない人とのやりとり(チャットなど)はしません。実際の友だちだけとします。

・ゲーム、動画視聴の1日の時間を決めたので、破った時は、3週間使えないと決めました。

子どもが提案

したものを採

用しました。



親子で肩を寄せ合い、話し合ってルールを決めている姿も素晴らしかったです。

